

令和6年 第2回 定例教育委員会 会議録

招集日時	令和6年2月21日 午後6時30分			
開会日時	令和6年2月21日 午後6時30分			
閉会日時	令和6年2月21日 午後7時40分			
開催場所	ふじみ野市役所 第2庁舎3階 B301会議室			
教育長	朝倉 孝			
委員出席状況	席番	氏名	出席別	説明のため出席した者
	1	富田信太郎	出席	教育部長 山中 昇 主幹兼上福岡西公民館長 内田 徳子
	2	茂井万里絵	出席	教育総務課長 内田 和明 主幹兼上福岡歴史民俗資料館長 高崎 直成
	3	西山 幸吉	出席	学校教育課長 石川 聖徳
	4	吉野 榮	出席	学校給食課長 山崎 純
			社会教育課長 永倉 秀雄	
書記	教育総務課係長 田島 輝	傍聴人数	0人	

会 議 概 要

議 事 等

- 報告第3号 専決処理に関する報告について（ふじみ野市教育委員会職員人事について）
- 報告第4号 令和6年度ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン（案）について
- 報告第5号 第3回ふじみ野市教育振興計画策定委員会の会議概要について
- 報告第6号 ふじみ野市立小・中学校学区審議会の審議経過について
- 報告第7号 あおぞら学校給食センターの土地賃貸借に係る更新契約締結について

(午後6時30分)	○開会の宣告
教育長	ただ今から、令和6年第2回定例教育委員会会議を開催いたします。
	○会議録の承認
教育長	まず始めに、前回会議録の承認についてです。 事前に委員の皆様にお配りしておりますが、何か確認事項等はございますか。
各委員	(確認事項なし)
教育長	特にないようですので、この内容で承認してよろしいでしょうか。

各委員 教育長	<p>(異議なし)</p> <p>それでは、会議録につきましては、この内容で承認いたします。 後ほど、委員の皆様のご署名をお願いします。</p>
教育長	<p>○教育長からの報告</p> <p>次に、報告をさせていただきます。</p> <p>(教育長からの報告)</p> <p>以上、何点か報告させていただきましたが、確認事項等はございます でしょうか。</p>
各委員 教育長	<p>(確認事項なし)</p> <p>それでは議事に入ります。本会議に提案させていただいた議事の件数 は、報告事項5件です。</p>
教育長	<p>○審議順序の変更及び非公開の確認</p> <p>委員の皆様には審議を円滑に進めるため、お諮りしたいことが1点ござ います。</p> <p>報告第3号「専決処理に関する報告について(ふじみ野市教育委員会 職員人事について)」は、人事案件のため、非公開とし最後にご報告さ せていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。</p>
各委員 教育長	<p>(異議なし)</p> <p>では、そのように決定いたします。</p>
教育長	<p>○報告第4号</p> <p>それでは、報告第4号「令和6年度ふじみ野市教育振興基本計画アク シヨンプラン(案)について」を教育総務課長より報告をお願いします す。</p>
教育総務課長	<p>本アクションプラン策定までの流れについては、今回、概要をご説明 し、各委員からご意見を伺った後、来月3月の定例教育委員会会議にお いて議案として提出させていただく予定となっております。</p> <p>なお、今回のアクションプラン(案)は、令和5年度の指標の目標値 に対する実績値及び計画最終年度の令和6年度の目標値を見直すもの</p>

で、各施策や取組については、基本的に変更はありません。

アクションプラン（案）の表紙の裏面「はじめに」の部分は、令和5年度の状況を記述しております。

令和5年度は、第2期ふじみ野市教育振興基本計画の計画期間である5年間のうちの4年目となります。新型コロナウイルス感染症も5類感染症に変更となり、これまでの日常を取り戻してきており、改めて実感した人との結びつきの大切さを学校行事や社会教育事業に活かしながら実施し、ICTなども活用しながら目標達成に向けて実施していくという内容です。

続いて、4頁から各施策の主な取組みとなっております。令和5年度も、まだ、年度途中ですので、数値が確定していないものもあり、その場合は網掛けとなっております。

それでは、順次、令和5年度目標値と実績値に違いがあるもの、目標値を超えたもの、目標が未達成な事業など、主なものをご説明いたします。

4頁の学校教育課「学力・学習状況調査の結果分析」になります。

小6国語、中3数学は目標値を超えております。小6算数、中3国語に付きましては、目標値を下回ってしまいましたが、いずれの教科も埼玉県平均を上回っており、県内でも上位に位置する結果となっております。

続いて、6頁の上から3段目、「中学校における職場体験活動の実施」については、未実施となっております。

コロナ禍期間、事業が中断されており、そのまま企業等との受け入れ調整や連携も中断された状態となっております。この事業は、生徒や保護者からも貴重な体験ができる活動事業として期待されておりますので、令和6年度の実施に向けて、企業等との受入調整、再開に取り組んでまいります。

9頁の中段の一番上、「中学生社会体験チャレンジ事業」についても同様に、令和6年度の実施に向けて取り組んでまいります。

11頁の上段の2番目、「地域指導協力者、中学校部活動指導員を活用した中学校部活動の充実」については、目標18人のところ、7人の

	<p>配置となっております。部活動の地域移行等、制度の移行期ですので、令和6年度は、目標達成に向けて、スポーツ、文化活動を所管する文化・スポーツ振興課と連携し、目標達成に向けて取り組んでまいります。</p> <p>また、12頁の下段の図書館の事業など、年度が終了していないため実績値が3月末以降にならないと確定しない指標もございます。その場合、実績値が確定していない指標については網掛け表示としてありますので、ご了承ください。</p> <p>30頁を御覧ください。中段の社会教育課の「放課後子ども教室におけるスポーツ活動の実施」については、目標13回（各校1回）のところ、8回（8校）の実施となっております。</p> <p>令和5年度放課後子ども教室が開催されなかった、さぎの森小学校、西原小学校を含め、5校が未実施となっております。</p> <p>これは、指導員の得意分野によって、活動内容などが決まる傾向にありますので、例えば、工作などが得意で運動などが苦手な指導員の場合は、工作などが多様に行われる傾向にありますので、そういった場合、今後は、スポーツ推進委員の協力を得るなど、スポーツ分野との協力、連携を得ながら目標達成に向けて取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>以上、アクションプランの概要となります。</p> <p>次回、3月の教育委員会会議時点までに実績値の確定できるものは修正し、お示ししたいと思います。</p> <p>内容について、何かお気づきの点がございましたら、今月中までに教育総務課にご連絡ください。</p> <p>説明は以上でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>ただ今の報告事項について、委員の皆様からご質問・ご意見がございましたらお願いします。</p> <p>9ページが一番下の欄、不登校の割合について、令和5年12月の段階で3.32%、298人ということですが、近隣の市町と比べていかがでしょうか。</p> <p>近隣とほぼ同じ状態でございます。</p> <p>令和5年も令和6年も目標値が0.5%となっておりますが、近隣の市</p>
教育長	
富田職務代理	
学校教育課長	
富田職務代理	

	<p>町の状況も踏まえてこの3.32%は突出して高いということではなければ、これを0.5%にしていくのは難しいと思いますので、現実的な目標を定め、それをクリアしていくというような目標設定にしていったほうが良いのかなと感じました。</p> <p>この不登校の割合というのは恐らく、劇的な改善が行われないとすれば、これは難しいのかなというふうに思っています。指標名のところに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、さわやか相談員、適応指導教室の活用とありますので、これらの相談を受けた延べ回数やこれだけの対応をしたというような回数などで指標を設定することはできないものかなと思いました。</p>
<p>教育長 茂井委員</p>	<p>皆さんの意見はいかがでしょうか。</p> <p>今現在、3.32%であれば、例えば何%減を目指すみたいな形であればパーセンテージ、割合というのが書けると思います。しかし、職務代理がおっしゃられたように0.5%と3.32%はだいぶかけ離れているので、無理な設定のように思えます。ゼロにしていきたいという気持ちはわかりますが、現状不可能でしょうし、活用の件数を出していくとしても、その数字も上がっていくのではないかと、なかなか減にはつながりにくい数値が出てくるのではないかと危惧しています。</p>
<p>吉野委員</p>	<p>不登校の問題は全国的に見ても、今現在も増えていると思います。そういうことを考えていきますと、私も茂井委員さんと同じで、前年度比で何割削減するかをここに表示したほうがいいかなと思います。0.5%のままだと、あまりにもかけ離れているなという感じがします。それともう一つは活用の状況、さわやか相談員、適応指導教室を活用した件数なども良いと思うので、ご検討いただければと思います。</p>
<p>教育長 西山委員</p>	<p>西山委員さんいかがでしょう。</p> <p>不登校に関しては、学校や教育委員会の対応だけでは解決に至らない部分もあると思いますので、やはり数値についてはなかなか表しにくいのかなと思います。家庭の状況で立ち入れない部分に関しては、やはり数値化はできないと思いますが、それでも反応を見逃さないようにするですとか、子供の状況を適切に把握して対応していくという事に関しては、そういった子供たちを減らしていく事は大事だと思いますので、あ</p>

<p>教育長</p>	<p>る程度の目標値というのはあってもいいのかなと考えています。</p> <p>令和7年度以降の目標の設定の仕方は改めて考えたいと思います。その時の視点は、不登校の子供たちを何割、あるいは何%削減を目指すかという事と、スクールカウンセラー等の活用の指標を分けて設定していきたいと思います。今年度はこの形で出させて頂いて、第3期ふじみ野市教育振興基本計画のアクションプランで大きく見直すという方向で行きたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(了承)</p>
<p>教育長</p>	<p>令和7年度については、削減目標と相談員等の活用件数、あるいは相談体制がどのように改善されたのかということをもう少し細かく設定していきたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>他、いかがでしょうか。</p>
<p>吉野委員</p>	<p>6ページの職場体験活動の実施なのですが、未実施ということで、コロナ等の関係もあってなかなか厳しい現在の状況ということですが、今後の見通しと、これまではいつ頃職場体験活動を実施していたのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>来年度については、実施をする方向で準備を進めています。例年、12月から2月にかけて事業者の割振り等を6校で調整をして実施しております。</p>
<p>教育長</p>	<p>学校の方は実施する予定でありますけれども、受け入れる側の事業者の方がコロナの影響をまだまだ考えるところもあります。このあたりは学校の思いと受け入れ側の思いが合致するかが難しいところでございます。</p>
<p>吉野委員</p>	<p>今年度も2月に実施する中学校はあるのでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>今年度は未実施となります。</p>
<p>西山委員</p>	<p>18頁の一番下の部分になるのですが、「教職員の身心の健康管理に向けて健康診断や健康相談を実施」の中に、ストレスチェックの実施とあります。地元の学校でも、担任の先生が変わったというようなことをよく耳にしておりますので、先生が受けるようなストレスというのが、やはり大きな問題となっているのか心配です。</p> <p>いろいろな人の話を聞くと、指導が伝わらないというような現状が垣</p>

<p>教育長</p>	<p>間見えているようで、コロナの影響もあり保護者へ学校の状況が伝わりにくいのかなと感じています。やはり学校の状況について、保護者の理解が得られないと先生ばかりに負担がいてしまうような、カスタマーハラスメントではないですが、こういうこともやってもらえるものだろうという形になってしまおうと思いますので、あったかな絆で育む「共育」という一番の目標があるように保護者にももう少し理解を得てもらうことでこういったストレス等の改善に繋がるのではないかと考えておりますので、そういったところでお考えいただけたらと思います。</p> <p>この指標の中で載せていくというのは難しいかなとは思いますが、仰っているように学校の実情をきちんと伝えていくというところでは、コミュニティスクールの学校運営協議会がその役割を担っているはずですので、学校の現状、そして保護者との関係というところを学校運営協議会で熟議をしていくべきところだとは思っています。</p>
<p>教育部長</p>	<p>来年度の予算で保護者対応などの教頭や管理職が主に行っている業務について、校長経験者等を活用した学校マネジメント支援員という職員の配置に係る予算を計上させていただいております。これによりまして、学習指導・生活指導のほうに多くの時間を割いていただき、子供たちと接する時間が少しでも増やせればということで計上させていただいております。そういったいろいろな制度を活用しながら、教職員の負担軽減を図ってまいりたいと思っております。</p>
<p>西山委員</p>	<p>学校運営協議会の中で、学校がこういうことで困っているというようなことが議題に上がりにくいような状況があるのかなという風に考えています。各学校と地域の関係性が深まる仕組みですのでそれを上手く活用できると保護者の興味ももう少し学校に向いてもらえるのかなと思います。難しいことだとは思いますが、考えていただきますようお願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>それが大きな目標の一つでもございますので、是非そういう関係性を築いていきたいと思っております。</p>
<p>茂井委員</p>	<p>6頁の「特別支援教育の推進」のところの実績値について、令和5年度に病弱身体虚弱が1学級あったようですが、令和6年度は載っていないようですが。</p>

教育長	令和5年度も設置しており、令和6年度の目標も対象児童生徒のいる学校に100%設置としています。
茂井委員	7頁の就学支援委員会の当初目標値については、令和6年度は9回実施となっていますが、何故でしょうか。
学校教育課長	当初策定時の目標値のため、そのまま記載していますが、見直し後は10回とさせていただきます。
吉野委員	22頁の図書館の中学校の団体貸出冊数が0冊になっているのですが、何か理由があるのでしょうか。
社会教育課長	中学校の方は、なかなかご要望をいただけてない状況ですが、今後は例えば働き方のものですとか分野を決めて、提供させていただこうと考えております。現在のところでは、要望がございませんでした。
教育長	小学校であれば一斉に同じ本を読むために団体貸出をするということはあるのですが、中学校の場合にはそういうことがあまりありません。社会教育課長が話をしたように今後例えばキャリア教育などで活用できないかということは、学校の方に働きかけていく予定ではございます。
吉野委員	是非キャリア教育や中学校職場体験活動に関連した本などの貸し出しを検討していただければ良いと思います。よろしくお願いします。
富田職務代理	20頁の「地域協働学校の推進」のところで、現在の指標として全国学力・学習状況調査の「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありますか。」というのは児童生徒に聞いている数字ということでしょうか。
学校教育課長	その通りでございます。
富田職務代理	現在の指標も良いのですが、地域協働学校の推進ということになれば、各学校運営協議会の方に対してのアンケート結果とか、そういったことがここの数値として載ってきても良いのかなと考えておりますので、ご検討をお願いいたします。
教育長	その方向で検討させていただきたいと思います。 他、いかがでしょうか。
各委員	(なし)
教育長	よろしいでしょうか。それでは、次回の教育委員会議で再度ご検討いただければと思います。

<p>教育長</p> <p>教育総務課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>○報告第5号</p> <p>次に、報告第5号「第3回ふじみ野市教育振興計画策定委員会の会議概要について」、教育総務課長より報告をお願いします。</p> <p>資料の5-1「次第」を御覧ください。</p> <p>第3回策定委員会は、令和6年1月12日（金）午後6時30分から、市役所第2庁舎3階 B302会議室にて開催しました。</p> <p>委員11人のうち10人の委員にご出席頂き、傍聴者はありませんでした。</p> <p>まず、議事（1）「施策体系（案）について」を議題とし、「第3期ふじみ野市教育振興基本計画における施策体系（案）」の資料を基に、施策の体系や施策展開の考え方の説明を行いました。</p> <p>委員からの御意見やご質問については、全体的なところで、大きく4点頂いております。</p> <p>まず、1点目は、文末表現が不揃いな点があるとのこと指摘を頂きました。そのことについては、「施策の展開の考え方」の記述で、始めの方の項目は、「課題や背景など」を記述し、「それに対応するための方策を、この様にします。」と言った形で書かれている形式が多く、後半は、実施する方策、内容のみを記載しているもの、また、「課題や前提条件のみ」を記載している場合など、書き方が不揃いなどがありますので、その辺りは今後、統一を図る旨の説明を行いました。</p> <p>2点目は、施策の展開の考え方で、「推進する」とか「充実する」という表現が多く、逆に、「こうしない」という表現ができないものかと言った、提案がございました。現時点で、具体的な事業や項目で「こうしない」というような表現が出来るものがないことから、今後、施策の展開の中で表現できるものがあれば、委員のご意見を伺いながら慎重な検討が必要であるとしております。</p> <p>3点目は、全体のボリューム、量的なこともそうですが、出てくるキーワードに「予測困難」、「誰一人取り残さない」、「多様なニーズへの対応」、「多様性を尊重し」等々の課題解消など取り組む内容が多</p>
--------------------------	---

く、質的にも施策を展開していくにあたり、実施主体が学校や一人一人の教員、学校長が実際に実施していくとなると、学校現場としても相当大変である、と言った感想もいただいているところでございます。

また、これら施策の展開に関連して、計画の策定過程において、施策展開などの表記にあたり、教育委員会と学校との連携や情報の受け渡しについては、どの様に学校との連携をしていくのかというご質問がございました。策定過程でも、学校長の委員や検討段階では教員経験のある指導主事などの意見を聞きながら、作りあげていきます。また、策定した計画は学校現場にもお渡しして、一緒に取り組んでいくものとして、お答えしています。

4点目は、これだけ広範、多岐にわたる施策を計画にどこまで落とし込むか、目標等の考え方、視点についてでございます。

先程の学校現場での負担感等々の意見に対して、一方では、国でも16の目標を掲げ更に細かい施策や様々な事業を落とし込んでおりますので、義務教育という前提があることから、国の教育の方向性を受けて、また、県の計画を受けて、ふじみ野市としてさらに具体的にどんなことに取り組み、子供たちの学びをどう推進していくのかという観点で計画策定を進め、学校と行政の密接な連携のもとで進められるものという、計画の実行性や前提となる考えを示させて頂いております。

次に具体的に資料の中身から主な意見をご説明いたします。

5-3の資料の1頁、下から2つ目に「③道徳教育の推進」の項目で、3つめに「いじめをしない」態度や力を身につける」という表現について、いじめが起こる構造的なものについて、いじめ問題を解決する1番大切なことは、いじている当事者よりもむしろそれを傍観している回りの人達の態度が重要で、起こったり起こらなかったりする、との意見から、子供達が「いじめを許さない」態度や雰囲気、文化を作る」というような書きの方が良いのではとの意見をいただきました。いじめをしない態度や力を作るというよりもそれを許さない学級や子供達を作っていくという方え方でございます。

また、道徳が教科になり、評価と結びつけると、こういう文章の時にはこういう答えなんだというのを覚えるという形になって、回答を覚え

	<p>る記憶教科になってしまうのでは、との懸念する御意見もいただいております。</p> <p>この様に、様々なご意見を頂いておりますので、御意見を踏まえ見直しを行い、次回会議でお示ししてまいります。</p> <p>続いて、資料5-2のA3の「基本方針・施策・施策の展開の見直し(案)」について、でございます。</p> <p>こちらにつきましては、上部に現状の第2期教育振興基本計画における基本方針、施策を記載しており、下部に第3期教育振興基本計画における基本方針、施策、施策の展開の案を記載しております。</p> <p>第2期につきましては、3つの基本方針、7つの施策より構成されております。</p> <p>第3期についても、結果的に3つの基本方針、7つの施策の構成を検討しており、基本方針の1が学校教育に関わること、基本方針の2が学校、地域、家庭の連携に関わること、3が社会教育全般に関わることといった形としております。</p> <p>第3期の基本方針や施策、施策の展開についての表現については、いくつかの案を基に御意見を頂いておりますので、全体的に見直しを行い、次回会議でお示ししていくこととなっております。</p> <p>会議の詳細は、資料5-4の策定委員会 会議録のとおりです。</p> <p>説明は以上です。よろしくお願いいたします。</p> <p>ただ今の報告事項について、委員の皆様からご質問・ご意見がございましたらお願いします。</p> <p>「子ども」という表記と「児童生徒」という表記があり、使い分けているのでしょうか。</p> <p>今の時点では明確な基準はございません。</p> <p>児童生徒は小学校、中学校に通っている子どもたちというイメージがありますが、子どもは誰を指すのか、統一すべきなのかあるいは使い分けている意味があるのならばそれで良いと思うのですが、違和感を覚えました。</p> <p>全て児童生徒というわけにもいかないですし、全て子供というふうにするのも難しいところです。</p>
教育長	
茂井委員	
教育総務課長 茂井委員	
教育長	

吉野委員	<p>学校関係に関する項目は児童生徒の方が良いと思うのですが、それ以外に例えば地域との共育だとかいうようなことについては子どもでも良いのかなというふうに使分けたいかと思えます。</p>
教育長	<p>全てを統一するのは難しいと思うので、聞かれたときに説明ができるように使い分けるような形で考えていきたいと思えます。</p>
吉野委員	<p>会議録を拝見させていただいて、会議録の中で意見の中で「確かな学力」から「豊かな学力」へという発言がありましたが、これは全く意味が違う事だと思えます。「確かな学力」については国・県それを受けて市町村でも本市でも「確かな学力」になっていると思えます。新たに「豊かな学力」にした場合は、それをどう定義して、学校に戻すか。そうすると国・県の流れからも外れていくような気もしますし、また新たに「豊かな学力」という概念を作るとなると非常に難しいのではないかなと個人的には思いました。「確かな学力」のところを「豊かな学力」に変えてしまうと、例えば小中学校の学習の評価そのものも変えなければいけなくなってくると思えますし、いろんなところで独自性がでてしまうのではないかと思いました。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。</p>
富田職務代理	<p>会議録の15から17頁に関していじめの問題が議論されておりますけれども、やはりそれぞれの学校時代を振り返って、多かれ少なかれ体験していることでしょうし、センシティブな問題だと思っております。いじめゼロにするのではなくて、いじめ見逃しゼロにするんだという本市の取組のことを説明いただきご納得していただいたという流れが垣間見えます。</p>
教育長	<p>皆さん、この教育基本振興計画の会議で理想を語られる場でもあると思うのです。ですから、いろんな議論がある中でも、やはり現実的な部分も同時に語っていただく委員さんもいるということでなんとか軌道が大きく外れないで、尚且つ皆さんの理想が少しでも反映できるような形はとれているのかなと思えます。</p>
西山委員	<p>議事録を読ませていただくと、先生方が大変なのに細かい目標がたくさん書かれているというような発言がありました。逆に困った時に見直すものとして、こういったことが細かく書かれていたほうが良いのかな</p>

<p>教育長 各委員 教育長 各委員 教育長</p>	<p>という感じがします。現状を加味した中で、こういったことをさらに細かく書いておくという事は、先生方に負担を課すことではなくて、立ち返るものとして必要なことではないかなと思いました。</p> <p>ありがとうございます。他、いかがでしょうか。</p> <p>(なし)</p> <p>この報告の内容については、よろしいでしょうか。</p> <p>(了承)</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>教育長 学校教育課長</p>	<p>○報告第6号</p> <p>次に、報告第6号「ふじみ野市立小・中学校学区審議会の審議経過について」、学校教育課長より報告をお願いします。</p> <p>令和5年12月20日開催の定例教育委員会会議にて議決いただいた第41号議案「ふじみ野市立小・中学校学区審議会への諮問について（ふじみ野市立小・中学校通学区域（東台小学校を東原小学校に統合することに伴う通学区域）の編成について）」、令和6年1月31日及び2月15日開催の第2回・第3回ふじみ野市立小・中学校学区審議会にてご審議いただきましたため、報告するものです。</p> <p>まず、第2回学区審議会での審議内容といたしましては、資料のとおり、東台小学校の小規模校課題解決を図るために、令和7年4月から、東台小学校の通学区域は、東原小学校の通学区域として再編することを学区審議会の考えとすることが確認されました。</p> <p>次に、第3回学区審議会での審議内容といたしましては、東台小と東原小の統合を円滑に進めるために必要な取組みを答申書の附帯事項として記載するため、東台小保護者の東原小授業参観への招待や、合同運動会・音楽会の開催、地域と連携した交流活動、教員加配の県への要請、学級編制への配慮、少人数指導支援員・スクールカウンセラー等の配置、安全な通学路・通学班の編成、学用品に係る保護者の負担軽減、学校施設の環境改善、備品の有効活用、放課後児童クラブ・放課後子ども教室への入室などについて、ご意見をいただきました。</p> <p>今後といたしましては、次回の第4回会議において、答申内容を決定</p>

<p>教育長</p>	<p>いただく予定です。その後、答申書をまとめていただき、令和6年3月の教育委員会会議にて、ふじみ野市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則について、ご審議いただきたく存じますので、よろしく願いいたします。以上です。</p> <p>ただ今の報告事項について、委員の皆様からご質問・ご意見がございましたらお願いします。</p> <p>なお、第4回会議の後に学区審議会の諮問に対する答申を私の方でいただきます。それをもとに3月6日の臨時教育委員会で規則改正を行い、今後の予定として3月10日の午前中に東台小学校の保護者説明会、午後に東原小学校の説明会を行う予定です。また、令和6年度に東台小学校、東原小学校の校長、教頭、PTA、学校運営協議会の方々に統合準備委員会を作り、具体的な令和7年4月1日の統合に向けての取り組みについて話し合いを進めていく、そういう話し合いの場を作る予定でございます。</p> <p>以上、課長の方からご説明をさせていただきましたが、ご質問・ご意見いかがでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(なし)</p>
<p>教育長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(了承)</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>教育長</p> <p>学校給食課長</p>	<p>○報告第7号</p> <p>次に、報告第7号「あおぞら学校給食センターの土地賃貸借に係る更新契約締結について」、学校給食課長より報告をお願いします。</p> <p>あおぞら学校給食センターは平成16年5月に20年間の土地の賃貸借契約をし、平成17年6月に建築が完了。平成17年度第2学期から給食の提供が開始されました。令和6年4月に20年間の土地賃貸借契約が満了を迎えます。</p> <p>あおぞら学校給食センターは現在、毎日約4,300食を提供しておりますが、児童・生徒の将来推計から見ても、今後約20年間はセンターを稼働させる必要性があることから、令和6年5月から20年間の土</p>

地賃貸借契約を更新したものでございます。

契約につきましては、令和5年9月に両地権者より新契約書の内容の確認及び承諾をいただき、令和5年12月議会で20年間の土地賃貸借料の債務負担行為が可決されましたので、令和6年1月26日に地権者との契約を締結いたしました。本契約の契約期間は令和6年5月1日から令和26年4月30日でございますので、令和5年度におきましては本契約に伴う支払いはなく、契約行為のみでございます。

なお、契約を令和6年4月ではなく1月と致しましたのは、新年度開始早々の繁忙期を避け、かつ、地権者承諾後になるべく早く契約を締結することとしたためでございます。

報告は以上となります。よろしくお願い致します。

教育長

ただ今の報告事項について、委員の皆様からご質問・ご意見がございましたらお願いします。

各委員

(なし)

教育長

この報告の内容については、よろしいでしょうか。

各委員

(了承)

教育長

以上で、公開とする議案及び報告事項の審議を終了いたします。

○報告第3号

教育長

それでは、ここからは非公開とします。

非公開

ここで非公開を解除します。

○各課からの報告

教育長

次に、ここで各課から別件で報告をしておくべき事項がありましたらお願いします。

各課長

(報告)

教育長

ただ今の各課からの報告事項について、委員の皆様からご質問・ご意見がございましたらお願いします。

<p>各委員 教育長</p>	<p>(質問事項なし)</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>教育長</p>	<p>○次回の日程等</p> <p>続いて、次回の定例教育委員会会議についてです。</p> <p>次回は、令和6年3月22日(金)午後6時30分から、会場は第2庁舎3階B301会議室を予定しております。</p> <p>なお、傍聴人の数ですが、5名までとさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>各委員 教育長</p>	<p>(異議なし)</p> <p>それでは、次回教育委員会会議の傍聴人は、先着順に5名を限度とします。</p>
<p>教育長</p>	<p>○閉会の宣告</p> <p>以上で、令和6年第2回定例教育委員会会議を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>(午後7時40分)</p>	